

小児看護学分野の東日本大震災後の活動記録

東北大学大学院医学系研究科保健学専攻小児看護学分野

教員氏名：教授 塩飽 仁，助教 鈴木祐子

所在場所：保健学科 B 棟，連絡先：inquiry@chn.med.tohoku.ac.jp

小児看護学分野は、震災直後から次のような被災地支援活動を行ってきました。

●子ども用低アレルギー食提供の仲介

子ども用低アレルギー食を提供するとメーカーから東京の小児看護 CNS に申し出があり、この CNS からの連絡を受けて沿岸地区の病院へ仲介しました。

●東北大学病院小児科小児看護外来での被災した子どもと家族の支援

東北大学病院小児科小児看護外来に通院中であった、子ども達や保護者の方と連絡を取りあって安否を確認し困りごとの相談に応じ、外来再開後には個別に神経症や発達障害の子ども達や家族の心理的フォローを行いました。

また大学病院の内外から震災後心理的に不安定になっている子どもの新患相談を受け、その後継続的にこれらに対応しています。

●石巻の NPO 支援

3月26日の石巻市役所訪問の際に、石巻の避難所で子どもたちに遊びを提供しようとしている被災者の柴田滋紀さんに会い、それ以後、柴田さんと柴田さんがその後設立した NPO 「にじいろクレヨン」(後に NPO 法人) を支援し続けています。

4月中旬に塩飽の大学時代の同期生である、明石久美子さん、大賀明子さん、鴻丸恵美子さん、玉置博子さん、松浦美紀さん(五十音順)から子どもたちの支援のために使って欲しいと義援金を送っていただきました。この義援金を使って絵の具やクレヨン、粘土などの遊び道具、子どもたちのおやつを仙台で確保し持参して提供しました。

また学部学生や大学院生らと共に石巻に入り、避難所の子どもたちと共に遊ぶボランティア活動に参加しました。また「にじいろクレヨン」のボランティア募集の広報活動を行いました。

■NPO 法人にじいろクレヨンの website

<http://nijiiro-kureyon.jp/>

●学会での活動

2011年6月1日に塩飽が日本小児看護学会災害対策委員会委員に就任し、被災地の現状に関する情報提供と学会としての相談事業、ホームページを通しての被災地の親子を支援する情報提供事業、義援金募金と災害支援事業の助成事業に参画しました。

●ドイツでの募金活動に基づいた活動

大学院生で病院の小児看護 CNS の井上由紀子さんの妹さんの井上真理子さんがドイツ留学中にお世話になった方々が日本のために募金活動を始められ、3月22日に真理子さんに仙台の状況の問い合わせがありました。

活動のとりまとめをなさっている方は、ドイツ Offenburg/Renchen にお住まいの、John Görmann さんです。Görmann さんはドイツで居合道の道場をなさっている方です。集めた募金を被災した方々に直接使っていただける比較的小さい規模の受け入れ先を探しているとのことで、真理子さんから分野に相談がありました。

そこで石巻の子どもたちの様子などお伝えして避難所の子どもたちの支援を提案したところ、賛同が得られ、ドイツでの本格的な募金活動が始まりました。Görmann さんと我々の間で橋渡しをしてくださったのがドイツ在住の今井敏恭さんです。今井さんはドイツで会社を経営されており奥様は仙台出身です。

■Görmann さんの website

LAIDOKAI Offenbourg <http://www.iaidokai.de/>

様々なチャリティーイベントが開かれ、地元の新聞にも繰り返し取り上げられました。

- Mittelbadische Presse : 2011年4月11日掲載記事
http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/doc/20110411_Mittelbadische_Presse.pdf
- Baden-online 2011年4月18日掲載記事
http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/doc/20110418_baden-online.pdf
- Mittelbadische Press 2011年6月20日掲載記事
http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/wp-content/uploads/2011/08/20110620_Presseartikel_japanisch.pdf
- Mittelbadische Press 2011年10月25日掲載記事
http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/doc/20111025_Newspaper_article_japanese.pdf

Görmannさんはクリスマスやイースターに合わせてドイツから子どもたち用のプレゼント小包を分野宛に送ってくださいます。この小包を石巻に届け、柴田さんからにじいろクレヨンに参加している子どもたちに配っていただいています。

この募金で集められた義援金で下記の支援を展開しました。

ONPO 法人「にじいろクレヨン」への活動資金の寄付 40万円

石巻や東松島、仙台（高砂）の避難所／仮設住宅で過ごしている子どもたちに遊びを提供している上記の団体の活動を支えるために資金を提供しました。

○福島県富岡町立富岡第一小学校への遊具購入資金の寄付 100万円

千葉大学同窓会ニュースレターで同大卒業生の富岡第一小学校の校長である八島 敬先生が「避難先の三春町の工場跡地を借りて富岡第一小学校、第二小学校、第一中学校、第二中学校の児童生徒とともに学校活動を再開したが、遊具がないため寄付を募りたい」と寄稿されていたことを知り、遊具購入のための資金を寄付しました。全40件、4,196,685円の寄付金で2012年春にブランコ2基、ジャングルジム、すべり台2基、雲梯、低鉄棒、バスケットゴール（1組）、高鉄棒、屋外時計が設置されました。

ONPO 法人「福島県の児童養護施設の子ども健康を考える会」への活動資金の寄付 40万円

福島県の児童養護施設は9か所あり、身寄りのない子どもたちや虐待を受けて保護された子どもたちなどが生活しています。原子力発電所の事故の影響で施設の周辺の放射線量は高いのですが法律によって避難が規制されており、施設の職員や看護師達が大変困っています。関東の大学教員の友人らとNPO法人を立ち上げ、施設の子どもたちや職員の健康状態を長期的にサポートする組織作りや支援を開始しました。

ONPO 法人「にじいろクレヨン」への研究資金の寄付 10万円（予定）

2012年1月に柴田さんから「にじいろクレヨンに参加している子どもたちが日増しに元気になっているが、それを実証する研究をして欲しい」と依頼を受けました。この依頼を受けてにじいろクレヨンと分野の共同研究を行うことにしました。研究計画を立案して研究科倫理委員会の承認を得ましたので、2012年8月から調査活動を開始する予定です。この研究を遂行するために石巻で必要な研究資金をにじいろクレヨンに寄付しました。分野は調査と解析を担当します。

ドイツからの義援金は今後も上記他の活動を支えるために有効活用していく予定です。

●シンポジウム、講演、ワークショップ

- 塩飽 仁：被災地での子どもたちの様子と支援活動からわかること。第9回日本小児がん看護学会学術集会 シンポジウム「東日本大震災 被災地の子どもと家族の支援」シンポジスト、前橋商工会議所（前橋市）、2011年11月26日
- 塩飽 仁：NPO「寺子屋 in 長万部」に招かれ、2012年4月7日18時から長万部町福祉センターで行われた講演会で「東日本大震災で被災した子どもたち」と題した講演を行って子どもたちの支援に必要性について話してきました。
- 塩飽 仁：ワークショップ「被災した子どもと家族のレジリエンスを高める」座長。第115回日本小児科学会学術集会、福岡、2012年4月20日
- 第3回宮城こどもかんばん net 主催、2012年2月13日
大学院生が看護外来で支援した事例3例について話題提供して、宮城県内の小児看護に携わる看護職者を中心にしたネットワーク勉強会を主催しました。
谷地館千恵：震災を機に登校が困難となった学童への関わり
名古屋祐子：震災後に友人関係の悩みを主訴に外来に来たケース
佐山恭子：東日本大震災で父親を亡くしPTSD症状を呈した子どもの看護支援の検討

●雑誌への寄稿

- ・塩飽 仁：これからケアに当たる方へ② 子どもたちが「日常」を取り戻すための支援を. ナーシング・トゥデイ「特集 震災後を支える看護 心のケアを中心に」 26(4):26-27, 2011年7月
- ・塩飽 仁：子どもたちが「日常」を取り戻すための支援を. 日本看護協会出版会編集部 編「ルポ・そのとき看護は ナース発 東日本大震災レポート」, 536-539, 2011年9月（再編集掲載）
- ・塩飽 仁：個人として看護師としての体験と想い. 日本精神衛生会 編「特集 震災に伴う心のケア」, 心と社会 42(3) : 80-84, 2011年9月

●その他

震災後の分野の支援活動の一部は分野 website 内の写真集で公開しています。

<http://www.chn.med.tohoku.ac.jp/photo/>

- ・2011年4月15日 撮影地：宮城県石巻市
- ・2011年4月16日 撮影地：宮城県亘理郡山元町
- ・2011年4月22日 撮影地：宮城県石巻市

今後も分野をあげて石巻と福島を中心に被災地支援を継続して行っていく予定です。詳細は分野の website を適宜ご覧ください。

○小児看護学分野 website <http://www.chn.med.tohoku.ac.jp>